

街道の駅からの小さな旅

てくてくてくてくて

甲斐の国に

「第5駅」甲府（南口）



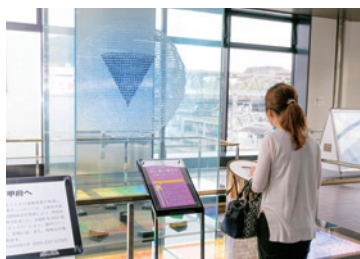
甲斐の国の府中として、その名がついた「甲府」。
意外に知られていないのが、「ジュエリーの街」としての伝統。
あらためて駅からてくてく歩いてみたら、
街のそこかしこで、幾つもの煌めきに出会えました。



01

クリスタルアース (甲府駅)

クリスタルアースを構成するのは、32面体カットの水晶約7千個。ジュエリー職人たちが7カ月をかけて一つ一つ手作業で研磨。



02

武田信玄公像

甲州武田軍を率いた武田信玄公の銅像が駅南口にある。銅像の高さは3・1メートル。軍配を手にした堂々たる姿は、さすがの風格。



03

オープンガーデン やまなし(山梨県庁)

「かえての庭」「白鳳の庭」は四季折々の景色が楽しめる。日没後は、噴水広場周辺をライトアップし、幻想的な空間を演出。



04

山梨近代人物館

県指定有形文化財の県庁舎別館内に開設。山梨ゆかりの先人50人の功績に触れられる他、旧知事室など重厚な庁舎内部も必見。



05

山梨ジュエリー ミュージアム

山梨ジュエリーの歴史を伝えるだけでなく、ジュエリー作家、職人たちの作品を展示。ジュエリーを作る体験工房も人気。



06

まるごと やまなし館

ワインをはじめ山梨の逸品を厳選したショップと、こだわりの県産食材を使ったメニューが楽しめるオープンカフェがある。



07

オリオンイースト

中心街の路地裏の通りには、個性的なショップがある。ジュエリー業界で活躍する若手クリエイターたちのジュエリーにも出会える。



08

甲府駅前 ちようちん横丁

横丁の趣が残る一角。甲府の街中にはこんな庶民文化の風情も。横丁加盟の全店が「やまなしおもてなし宣言」をしている。



てくてく
歩きの
途中で...



オリオンイーストで、ジュエリーショップにお勤めしている女性に会いました。「この通りのジュエリーショップは工房を併設しているので、ジュエリーの修理やオーダーに訪れる方もいるんですよ」と教えてくれました。

富士を輝かせる宝石、みつけた。





甲府盆地の夜景が美しいわけは、盆地をぐるりと囲んでいる山々が、漆黒のビロードをまとった宝石箱のようで、無数の光のしずくの輝きと美しさを際立たせているから。少し高台に登って見下ろせば、広げた両手で抱けそうな、まるで私だけの宝石箱。(撮影場所:和田峠)

「よく人は、甲府を『播鉢(すりばち)の底』と評しているが、当たっていない。甲府は、もっとハイカラである。」(太宰治『新樹の言葉』)